

血液透析、始めました。



宮崎生協病院
内科 眞川 昌大
(写真一番右)

皆さん、こんにちは。12月から生協病院に透析室を開設しました。

開設後、透析患者さんの入院診療の要望が予想以上に多いことに驚きました。11月30日に一人目の患者さんが入院し、その後2ヶ月半で約10人の入院患者さんを受け入れました。

経験豊富なスタッフも多数入職してくれ、新築のきれいな施設で昨年発売したばかりの最新機器でどんな血液透析にも対応ができ、恵まれた環境です。

ぜひ、見学に来て下さい！

末期腎不全になったときの腎代替療法(血液透析・腹膜透析・腎移植)の選択外来も1月から始めています。実は宮崎県は他県と比較し(特に宮崎市)、腹膜透析・腎移植を選択できる患者さんが少ないことが課題です。

生協病院では血液透析だけでなく、患者さんにあった最適な腎代替療法を提供できるように心がけています。2月8日には腎代替療法をテーマに患者さん向けの院内講演会も行いました。

皆さん、腎臓内科に興味ありませんか？

生協病院は腎透析医療を担ってくれる若者を待ち望んでいます。

私の好きな本

宮崎生協病院
内科医師 永友 英之

「急に具合が悪くなる」



(宮野真生子(まきこ)、磯野真穂 著)

「急に具合が悪くなる」という、一見とぼけたようにも見える表題なのだが、読んでみて驚いた。この本は恐ろしいほどに深く、熱い。これは、宮野と磯野の二人によって書かれた十往復に渡る書簡集である。宮野は哲学者で、「偶然性」を専門にしている。磯野は人類学者で、特に身体、食、医療、不確実性などを専門にしている。宮野は「身体にガンを飼って」(本書より。以下、「」内は全て本書からの引用)いて、もともとは宮野が「病を抱えて生きるこの不確実性やリスクの問題を、専門的に深めてみよう」という、学問的な「野心」から磯野に声をかけて始まった企画だった。

この本の前半は、「身体とリスクをめぐる話」がややのんびりと流れる。そこは当事者となった哲学者と医療を専門にした人類学者との手紙のやりとりだけあって、恐ろしく深い。「不運は点、不幸は線」「現代医療の現場は、確率論を装った(弱い)運命論が多い」「治ったら一番に何がしたいか、という問いかけは、治らねば一番にしたいことはできないというメッセージを暗に発しています」など、私たちが身につきまされるような言葉が散りばめられている。平易な表現でありながら書かれている内容は高度でありこの前半部分だけでも十分に読む価値のある本だと思う。

ところが、六往復目くらいから内容が一転する。宮野の病状が悪化し、文字通り「急に具合が悪くなる」のだ。呼吸困難や痛みが進行し、死の恐怖を間近に感じる中で、「私は考え、言葉にするのです。そうやってなんとか生の側にとどまります。」

「これを哲学する者の業と言わずして何と云うのでしょうか。」と書き、自分が存在すること、他者との関わりとは何か、考え続け、宮野にしか紡げない言葉を紡ぎ出していく。そして磯野も学者として、友人として、人として悩みながらその言葉を受け止め、様々な問いを発していく。それは役割に応じて変幻自在である。後半部分は熱く、スポーツを観戦するような感覚になる。この本の終わりで宮野が指摘した通り、磯野は宮野とともに駆け抜けた「伴走者」であつたと思う。

この本はいつでも読めるように、買って手元に置いておくことを是非お勧めする。今読んで響かなくても、後から読み返したくなる時は必ずくる。読むたびに新たな発見がある、名著とはそんなものである。

小児科外来の二ぼれ話

宮崎生協病院 小児科外来 三好里美

2019年12月から、小児科外来は附属棟1階へ移転しました。これまでの外来より3倍の広さとなり、診察室も十分なスペースが確保できています。また、一般外来と予防接種・乳児健診の待合室は分かれているため、病気の子と一緒にならないようになりました。

一般外来の待合室も広くなり、その中心には本棚を設置しています。色々な本がある中で、子どもたちがよく手にとっているのは「図鑑シリーズ」です。乗り物、食物、昆虫、動物、恐竜シリーズがあります。その中でも、「恐竜図鑑」「昆虫図鑑」は子どもたちに人気があるようです。お父さんやお母さんも一緒に真剣にみられている光景も見られますよ。絵本は大人と子どものコミュニケーションツールのひとつです。絵本を通して、心ふれあう楽しいひとときを過ごしてもらえたらいいですね。診察の待ち時間に、本を活用してもらえるといいなと思っています。

附属棟へ移転後は、事務スタッフも配属され、看護師とともに小児科スタッフが固定化されました。いつも同じスタッフが対応できるため、スタッフと患者さんや家族が顔なじみになります。病気の時はもちろん、成長も見守りながら、かかりつけ医として「何でも相談できる!」と安心して来院してもらえるような場を作れるように、これからも、小児科スタッフ全員で取り組みたいと思います。



宮崎生協病院は昨年12月に
1階小児科、2階健診科
3階人工透析室を備えた
附属棟を開設しました
見学・実習等お気軽に
お問い合わせ下さい

